

## ～ なぜ今景観なのか まちづくりと景観形成 ～

八木雅夫（国立明石高専建築学科教授）

1. 景観まちづくりのこれまで
2. 兵庫県の事例 ～景観まちづくりの制度と実際
3. 協働と参画 ～ほりおこし・みつめなおし・つくろい・いかす
4. なつかしい町は元気になる

**【講師略歴】** 国立明石工業高等専門学校 建築学科 教授 博士（工学）＜京都大学＞ 一級建築士  
専攻： 都市計画学（都市景観計画、都市環境史、保存修景計画、歴史的建造物の保存活用計画）  
1957年大阪府大阪市生まれ 1985年京都大学大学院工学研究科博士後期課程建築学専攻修了  
最近の著書：「歴史的遺産の保存活用とまちづくり 改訂版」（共著 2006年 学芸出版社刊）  
「日本の町並みⅠ 近畿・東海・北陸」（共著 2003年 別冊太陽 平凡社刊）  
設計（監修）：1996年 明石の家（卜部邸） 1997年 御津町立室津海駅館 1998年 龍野市立武家屋敷資料館  
2003年 生野まちづくり工房井筒屋  
その他、「兵庫県景観形成審議会委員、たつの市文化財審議会委員」をはじめ多数の行政委員を務める。